

## 電力小売り自由化に関する調査

# 契約先変更の意向 32.7%

市場調査会社・ジーコム(福岡市)は、県内の消費者を対象に行った「電力小売り自由化に関する調査」(508人回答)の結果をまとめた。一般家庭にも対象が広がった4月からの電力全面自由化で、契約先の電力販売会社を「変更したい」「やや変更したい」との回答が合わせて32.7%となり、「変更したくない」「あまり変更したくない」の計20.3%を上回った。

## 安さ重視61.2%

・0%、「変更したくない」は6.3%となった。47.0%は「どちらでもない」と回答した。

変更の意向を示した層に、その時期を尋ねたところ、「自由化後すぐに」は10.8%だった。「変えた人の話を聞いてから」が58

## Weekly けいざい

調査はインターネットで3月中旬、原則20歳以上の

同社モニターを対象に実施。全面自由化の内容を詳しく知っている「ある程度知っている」と答えたのは計69.7%だった。電力会社の契約を変えるかどうかは、「変更したい」が9.3%、「やや変更したい」が23.4%で、「あまり変更したくない」は14

・9%を占め、様子見の消費者が多いことも分かった。変更の際に最も重視することは、「電気料金の安さ」(61.2%)、「電力を安定供給できること」(13.6%)の順となった。一方、変更を検討しない理由(複数回答)は、「どの程度安くなるか分からない」(45.6%)が最多。これに、「現在の電力会社に安心感がある」(44.7%)、「現在の電気料金に不満がない」(35.9%)が続いた。